



伊藤 文博
議員

質問

総合計画ほか各計画等の策定・実行・検証・改善について

現在、第2次総合計画大綱、実施計画の策定中である。糸魚川市には総合計画以下多くの計画等が策定されているが、その基本的な考え方について伺う。

- (1)総合計画が策定されると下位計画の見直しが必要となるが、どのように考えるか。
- (2)全ての計画において、国の方針の変更、社会情勢の変化、市長の選挙公約などにより見直しが必要となることが多いと考えるが、対応方針はどうか。
- (3)ほとんどの場合、1つの計画が多面的要素を持つ。例えば、財政的要素とまちづくりの要素など、その重複した部分に着目しないと、策定以降の適正なPDCAを回すことができない。どのように考えているか。
- (4)各計画間に重複する要素があり、計画の統合を考慮することにより、より分かりやすい計画となるケースがあると思うが、そのような検討が常になされる体質となっているか。

- (5)計画を策定し、施策を実行していく段階で、常に検証しながら進めていくことが求められる。検証には、前述(1)、(2)の見直し要因のほかに、進捗管理や、効率性、有効性などについて、より良い市政運営、市民生活を求める建設的姿勢での検討が含まれるが、どのように考えているか。

▼市長答弁

- (1)総合計画は、市の最上位計画であるので、方向性が大きく異なった場合には下位計画を見直す必要があると考えている。
- (2)国の制度や社会情勢の変化など、各計画で変更が必要となった際には、適宜、見直しをしていく。
- (3)関連する複数の要素を勘案して、計画を策定し、実行・検証する中で、関連する計画も含めて改善することにより、計画の目的や目標を達成するものとする。
- (4)計画の中には、国や県により内容が定められたものもあるが、市民目線で、より分かりやすい計画策定に取り組んでいく。
- (5)事務事業評価などの検証により様々な観点から分析を行い、計画本来の目的が達成できるよう、事業や進め方を見直すことが重要であると考えている。



保坂 悟
議員

質問

権現荘の経営について

- (1)支配人としての能力について、①支配人が収支管理をしないのはなぜか。②支配人が行う飲食サービスの記録がないのはなぜか。③棚卸しの未実施や売価変更伝票がないのはなぜか。④客室使用や飲食の記録がないのはなぜか。⑤支配人の7年間の労務管理の状況はどうか。⑥今回の内部監査報告等で多くの指摘があるのはなぜか。
- (2)市長(能生事務所)の管理監督責任について、7年間の1億1千万円の累計赤字について、平成24・25年度以外は支配人の雇用契約違反と考えるが、どうか。

▼市長答弁

- (1)①修繕費や委託料など能生事務所で管理している支出もあり、全体把握ができないことが理由である。②支配人の裁量の中で行っていたものであり、今後はやめていく方向で検討していく。③公会計において必要なかったため、棚卸は年度末のみ実施していた。④宿直業務についてはお客

様の安全確保の観点から実施してきており、事務手続きはなかったものと考えている。飲食については基本的には自費で購入しており、賄いを食べた場合には食事代を徴収している。⑤労務管理は適正でなかったと考えている。⑥経理及び労務について管理が不十分であったことや、客室稼働率などが指摘されており、今後改善していきたいと考えている。

- (2)運営収支の赤字については外的要因や市の施策が要因の場合もあり、支配人のみの責任とは考えていない。

質問

交流人口拡大とまちづくりについて

- (1)人が集まる楽しい仕組みづくりや仕掛けづくりをするチームの創設と拠点設置についてどうか。
- (2)ポケモンゴーの活用について、世界ジオパークの推進に活かすべきと考えるがどうか。

▼市長答弁

- (1)現在、市民や各種団体が主体的にまちづくりの取組を行っており、今後も支援していく。
- (2)観光施設や公共施設、駅などにポイントが設置されているので、通信環境や安全面などを考慮した上で、ジオサイトへのポイントの設置について運営会社に提案していく。

その他質問項目

- 日常生活の支援策について